

ICTを活用した新たな学びに向けた取組みについて

1 主旨

区立小中学校の児童・生徒1人1台のタブレット型情報端末の配備や、令和3年度に使用するアプリケーション・ソフトウェアの選定など、ICTを活用した新たな学びの実現に向けて取り組んでいるところであるが、その状況と今後の予定について報告する。

2 ハードウェア関連

(1) タブレット型情報端末の配備について

①児童・生徒用タブレット型情報端末の配備

(ア) 学校への第1次配備 (約1万台)

令和2年11月16日～11月30日に各小中学校の中学3年、小学6年を対象とした約1万台の配備を実施した。

(イ) 学校への第2次配備 (約3万3千台)

令和3年1月12日～20日に中学校29校の中学1年、中学2年を対象とした約7500台の配備を行い、引き続き、小学校61校への配備を行っていく。

(ウ) 既存端末の更新及び児童・生徒増への対応端末の配備 (100, 285千円)

既存のタブレット型情報端末を更新し、令和3年度の児童・生徒増へ対応するタブレット型情報端末を配備する (7, 267台)。

②教員用タブレット型情報端末の更新

教員用タブレット型情報端末について、児童・生徒用端末と同機種に更新し、ICTを活用した新たな学びの速やかな実践を推進する。

(ア) 配備台数 1, 700台

(イ) 端末納入事業者

東京都港区港南一丁目2番70号

NTT・TCリース株式会社

代表取締役 成瀬 明弘

(ウ) スケジュール (予定)

令和3年3月 各学校へ端末配備

(2) ネットワークの整備について

①校内通信ネットワークの整備

(ア) 委託先事業者

ネットワンシステムズ株式会社

(イ) スケジュール (予定)

令和3年2月 全中学校の通信ネットワーク環境整備作業完了

令和3年3月 全小学校の通信ネットワーク環境整備作業完了

令和3年4月 新たな校内通信ネットワークの本格運用開始

②校内通信ネットワーク及びタブレット型端末の運用支援 (150, 341千円)

校内通信ネットワーク及びタブレット型端末に対する各種問い合わせや、ネットワーク機器の保守等の運用支援を一括して管理するサービスデスクを設置する。事業者はプロポーザル方式により選定する。

(ア) スケジュール (予定)

令和3年4月 運用支援開始

(3) 教育用クラウド基盤へのデータ移行 (13,200千円)

各学校のサーバや教育センターのサーバで分散管理しているデータを、教育用クラウド基盤に集約するため、データの移行作業を行う。

3 学習支援アプリの整備

公募により令和3年度に使用する学習支援アプリ製品を選定した。引き続き契約事業者の選定を行う。

(1) 双方向型学習支援アプリ

株式会社L o i L o ロイロノート・スクール

(2) ドリル系学習支援アプリ

株式会社COMPASS Q u b e n a

(3) スケジュール (予定)

令和3年2月 契約事業者の選定

令和3年4月～ 学校、家庭での使用開始

4 教員支援・人材育成の推進

(1) 教員の指導力向上

令和3年2月～ 令和3年度に使用するアプリの操作基礎研修

3月 中長期の人材育成計画の策定

4月～ 教員のICTスキル向上研修の実施

(2) 教員への支援

① ICT支援員の配置拡充 (6名→12名) (61,149千円)

(3) 区内・校内の推進体制の整備

① ICTインフルエンサーの選任

ICTを活用した授業の実践に先進的に取り組み、研究会等を通じて成果を発信するICTインフルエンサーを教員の中から20名程度選任する。

② ICT推進モデル校による取り組み

③ 各校の推進体制の整備

ICT推進チーム (5名程度) を各校に設置し、学校におけるICT活用を推進する。

(4) ICTの更なる有効活用の研究

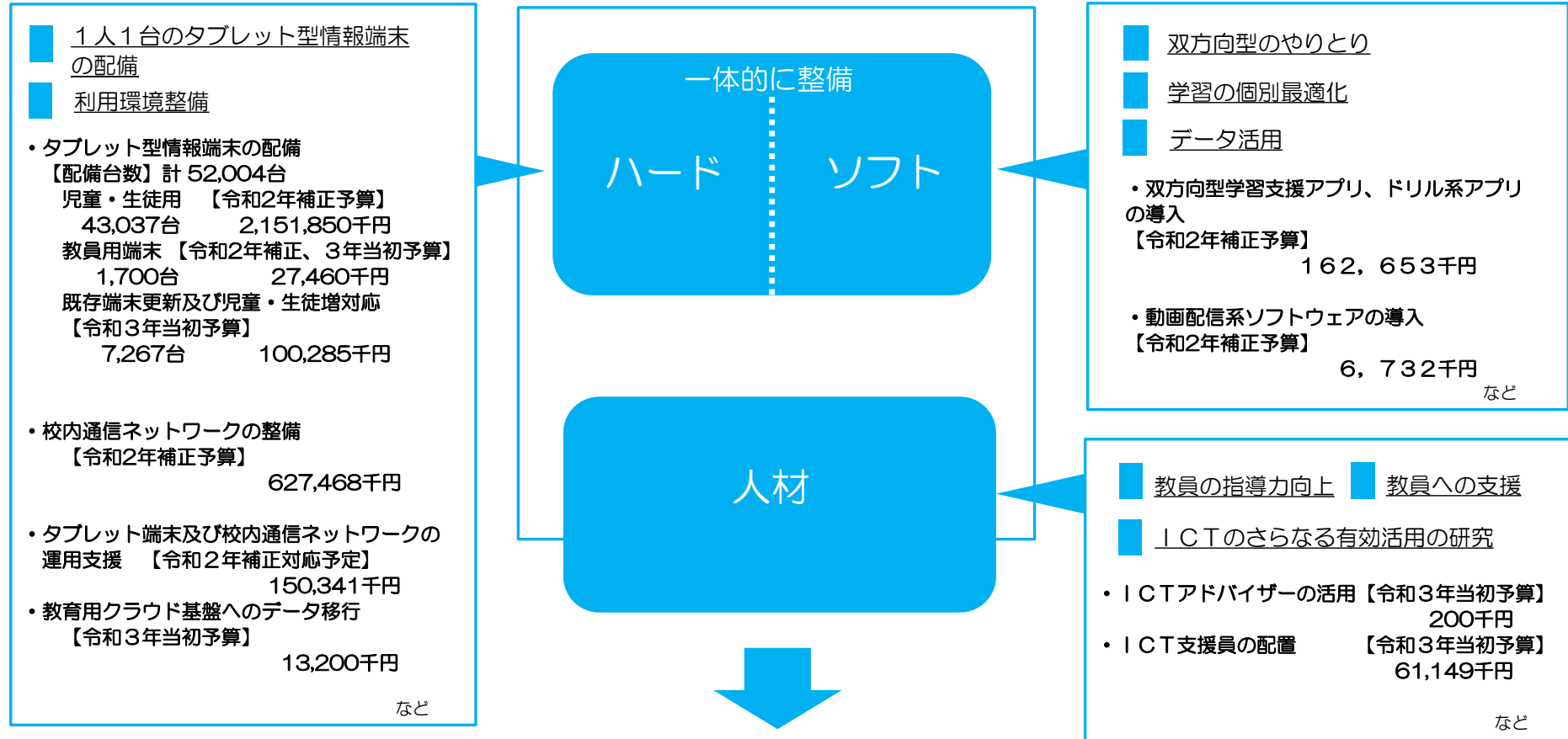
① ICTアドバイザーの活用 (200千円)

区内全体のICT活用の推進体制や教員のICTスキル向上などについて、学識経験者からの支援を受ける。

② ICT教材の研究、ICT活用事例や教材等のデータベース化

電子書籍・電子教材・アプリなど学校教育で活用しうるICT教材や他自治体の先進事例などの研究・情報収集を行い、その成果をデータベース化し、教員に情報発信を行う。

ICTを活用した新たな学び



新たな学びの実現（教育の質の転換）